

スマートフォン・ゲームの夜間使用制限に向けて

県教育委員会では、PTA等と連携して、児童生徒の生活習慣の改善を図ることを目的に、小中学生のスマートフォンやゲームの夜間使用制限を打ち出すこととしており、実効性ある取組となっていきよう、各学校はもちろん中学校区単位や市町村単位での、スマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進してまいりたい。

[ポイント]

- 「保護者が21時以降はスマホを預かる」、「ゲームも21時まで」、「スマホなどとのつきあい方を学校で考える場を設定する」の3つの取組を推進。
- これにより「親が注意しやすい」「子どもが誘いを断りやすい」環境を作る。

[経緯]

- ・全国学力・学習状況調査（小6、中3対象）において、この数年で、特に大きく状況が変化している項目として、ゲームの時間が挙げられる。
- ・スマートフォン・携帯電話の所持率が高まり、無料のゲームも多くなっている中、本県においても子どもたちのゲームの時間が増加し続けており、特に中学生では4人に1人が平日3時間以上テレビゲームを行っている状況である。
- ・また、近年、ソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）が急速に普及し、長時間にわたって使用する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースもおこっている。



- 岡山県教育委員会では、小中学生のスマートフォン・ゲームの夜間使用及びつきあい方の見直しについて、PTAや学校、市町村教育委員会、小中学校長会等と連携した取組を行っていくこととした。

[取組]

- ・家庭において、子どもと保護者がスマホの使い方・使用について話し合い、「保護者が21時以降はスマホを預かる」、「ゲームも21時までとする」など、家庭内のルールをつくる。
- ・学校において、学級や生徒会などで、スマホの使い方について、考え、話し合い、子どもたちが自分で制限の必要性について理解する。
- ・県全体として、スマホ・ゲームに関する取組を進め、「親が注意しやすい」「子どもが誘いを断りやすい」環境を作る。

スマートフォンやゲームなどの夜の使い方について考えましょう

岡山県教育委員会

県全体で3つの取組を進めていきます！

- 保護者が午後9時以降はスマホを預かりましょう。
- ゲームも午後9時までとしましょう。
- 学校でスマホなどについて考える場を設けましょう。

本県の児童生徒のゲームの時間が増加し続けており、特に中学生では4人に1人が平日3時間以上テレビゲームをしている状況です。また、近年、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースもおこっています。

そこで、岡山県教育委員会では、PTAや学校、市町村教育委員会、小中学校長会等と連携した取組を進めていきます。



夜遅くまで、スマホで友達とやりとりをしているみたい。どうやって注意しようかしら……

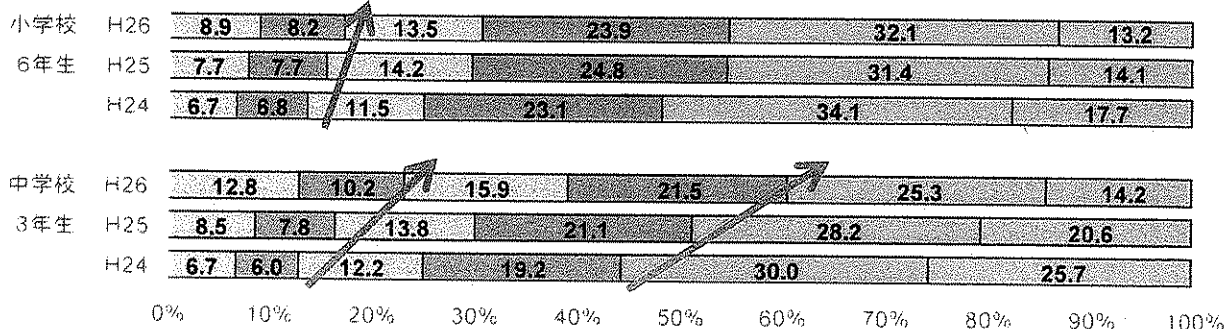


眠いけど、ここで返事を返さないと、僕だけ、仲間はずれにされるかも……あー、面倒くさい。

●普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

※「全国学力・学習状況調査」より

□4時間以上 □3～4時間 □2～3時間 □1～2時間 □1時間未満 □全くしない



家庭や学校で、ぜひ

- ① 子どもと保護者がスマートフォンやゲームの時間や使用等について話し合い、ルールをつくりましょう。
- ② 学級や生徒会などで、スマートフォンなどの使用について考えたり話し合う活動を行いましょう。



岡山県マスコット ももっち